

待遇改善・設備投資進める

萬運輸 永年勤続者ら表彰

【神奈川】萬運輸（東海

林憲彦社長、横浜市鶴見区）は11日、創業64周年・

創立61周年祝賀会を開催し、永年勤続者や優秀社員14人をたたえた。東海林社長は生産性向上で収益性が

高まったことを受け、従業員への待遇改善と設備投資を一層進めていく考えを示し



た。永年勤続では、勤続40年

の東海林敏一（庄内営業所）、野澤靖隆（小山営業所）の両氏ら、10～40年の8人に東海林社長から表彰状が贈られた。

また、優秀な技能や一定基準以上の資格を有する社員を3段階で認定することで職場の士気高揚と一層の業務効率化を図る「三ツ星

「安全、品質、最高のサービス提供で顧客や地域から信頼を得よう」と東海林社長

表彰制度」では、最高位の

三ツ星に阿部剛氏（庄内営業所）が選ばれた。二ツ星は佐藤雄樹氏（管理部）、一ツ星には増田貴文（小山営業所）、永島栄和（同）、三浦雅之（庄内営業所）、中山信弘（ヨロズモーターズ小山）の各氏がそれぞれ認定され表彰を受けた。

会社の業績説明で、東海

林氏は「2023年7月期は生産性向上と効率化の取り組みが奏功し、厳しい経済情勢の中でも高い収益性を実現できた。安全、品質、最高のサービス提供で顧客や地域から信頼を得るためにも、他社に負けない待遇改善と設備投資をしていく」と強調した。

安全標語コンクールで

は、従業員55人と従業員の家族13人から計124点の応募があり、応募総数は前回（22年11月実施）の1.5倍となった。その中から、全社投票で8点の入賞作品を決定。1位には、横浜営業所の従業員の家族の作品「ゆずり合い ころころの気持ち ゆとりから」が選ばれた。

4年ぶりに開かれた懇親会では、各営業所の従業員が対面交流を楽しんだほか、永年勤続者や三ツ星制度表彰受賞者、安全標語コンクール入賞者らが改めて壇上で紹介された。

（吉田英行）